



## 平成25年度 中央大学学術研究奨励賞

理工学部教授 早坂 七緒
学術図書として Wilhelm Fink 社（ドイツ）より "Robert Musil UND DER GENIUS LOCI" を上梓。
▶ 日本オーストリア文学会賞 2013/5/26 日本オーストリア文学会
20世紀のドイツ語圏における最高の長編小説作家であるローベルト・ムージル（1880-1942年）の各地の住環境を中心に調査研究した著者の数十年におよぶ研究の成果である本書は、国際ローベルト・ムージル学会他により高い評価を受け、ドイツやオーストリアの新聞等にも紹介された。日本学術振興会がはじめて海外の出版社より成果を公開させた学術図書であり、この業績は奨励賞にふさわしい。
理工学部准教授 新妻 実保子
「空間メモリ：空間知能化のためのヒューマンインタフェース」の業績が認められ、日本機械学会より日本機械学会奨励賞（研究）を受賞。
▶ 日本機械学会奨励賞（研究） 2013/4/19 日本機械学会
日本機械学会奨励賞（研究）は、機械工学または広く産業社会にかかわる主として研究上の業績において特に優れている、35歳以下の若手に授与される名誉ある賞である。受賞対象となった「空間メモリ：空間知能化のためのヒューマンインタフェース」は空間内に存在する多様な機器を統一的に使用可能にするユーザインタフェースであり、実空間とデバイスおよび電子的空間と人をつなぐ、ほかに類を見ないアプローチである。さらに、空間メモリは空間における人の活動の記述とみなすことができ、人の活動状況に応じた働きかけを行う空間知能化のプロセスを発展させるものとして期待できるとして奨励賞を受賞するに至った。
理工学部助教 田村 雄介
人の動作からの意図推定とそれに基づいた支援システムの研究により、日本機械学会から奨励賞を受賞。
▶ 日本機械学会奨励賞（研究） 2013/4/19 日本機械学会
日本機械学会奨励賞（研究）は、機械工学または広く産業社会にかかわる主として研究上の業績において特に優れている、35歳以下の若手に授与される名誉ある賞である。受賞対象となった「人の動作からの意図推定とそれに基づいた支援システムの研究」において田村氏は、人間の動作認識に基づいた空間情報と時系列情報を、確率モデルによって統合した意図推定手法を提案し、さらには意図推定に基づいた卓上作業支援システムの開発を行った。提案システムは、多品種少量生産が中心となる生産現場において、人間の持つ柔軟性と機械の持つ迅速

性・確実性をうまく融合するものであり、非常に独創的かつ広く産業界に貢献することが期待されるものであると認められ、本受賞に至った。
文学部教授 鈴木 俊幸
『江戸の読書熱』（2007年、平凡社）・『絵草紙屋 江戸の浮世絵ショップ』（2010年、平凡社）・『江戸の本づくし』（2011年、平凡社）・『書籍流通史料論 序説』（2012年、勉製出版）等書籍文化史関係の一連の著述。および『近世書籍研究文献目録』（2007年増補改訂版、ペリかん社）の工具書の発行と年刊誌『書籍文化史』発行による学会への寄与。
▶ 岩瀬弥助記念書物文化賞 2013/10/26 愛知県西尾市
鈴木氏が受賞した岩瀬弥助記念書物文化賞は、書物文化についての上質かつ労作の研究を奨励、顕彰するものであり、書物のもつ世代を超えた情報伝達機能にかかわる研究論文、著書、事業を対象に贈られるものである。本賞は5年に一度のものであり、書誌学や歴史学の有識者・大学教授から構成される選考委員会によって、3人の受賞者のうちの一人として選出された。 氏は、近世文学研究の主題である作品研究を踏まえつつ、従来ほとんど顧みられなかった書籍の流過程に着目し、多くの新しい史料を開拓しながら、蔦谷重三郎をはじめとする江戸の出版文化の実相を独創的かつ実証的に余すところなく明らかにした。その研究成果は、『江戸の読書熱』『江戸の本づくし』のような一般啓蒙書にはじまり、『近世日本における書籍・刷物の流通と享受についての研究』（科研費報告書）、『書物流通史料論 序説』のような学術研究に至るまで幅広く、受賞に際しては、そうした点が大きく評価されたものといえる。氏が切り開いてきた研究分野は、今日の近世書籍文化史研究の発展に対して多大な貢献をなすものであり、中央大学学術研究奨励賞に相応しいといえる。



## 第27回 渋谷健一奨励賞

本賞は、渋谷健一先生（元本学理事長）の本学創立100周年を記念した奨励基金により、有為な人材の育成に資することを目的に、本学に在学する学生のうち、学術、文化、体育等の活動を通じて卓越した成果を収めた者（団体を含む）を対象に授与するものです。



学術・文化の分野



精密機械工学研究部	学生会理工連盟
本田宗一郎杯 Honda エコマイレッジチャレンジ 2013 全国大会において、デザイン賞受賞（410 チーム中 1 チームのみ選出）	

## 学術研究・スポーツ功績への表彰

戸森 央貴	大学院理工学研究科博士課程後期課程 精密工学専攻
1, (株)リバネスによる若手研究者助成制度「第16回 リバネス研究費 ナプテスコ奨励賞」受賞 (8件中1件) 2, 国際会議「39th Annual Conference of the IEEE Industrial Electronics Society」 Best paper in session 受賞 (セッション内6人中1人)	
木村 拓矢	大学院理工学研究科博士課程前期課程 応用化学専攻
国際会議「15th IUPAC International Symposium on MacroMolecular Complexes」において、 First Place Research Poster Presentation Award および IUPAC Poster Prize Certificate 受賞	

### 体育の分野

ボート部	学友会体育連盟
1. 第35回 全日本軽量級選手権大会 (Japan Cup) 男子エイト 優勝 2. 第40回 全日本大学選手権大会 (インカレ) 男子舵手付きフォア 優勝	
自転車競技部	学友会体育連盟
第82回 全日本自転車競技選手権大会トラック・レース 男子4km チームパーシュート 優勝	
大川 智矢	文学部 3年
1. 第12回 世界武術選手権 男子剣術 優勝 (日本人初) 男子槍術 銀メダル獲得を果たし、その実績が朝日新聞、北海道新聞に掲載 2. 第63回 日本スポーツ賞 (読売新聞社制定) 武術太極拳 受賞	

### その他の分野

安原 元樹	総合政策学部 3年
独立行政法人日本学生支援機構 平成25年度優秀学生顕彰 社会貢献分野 大賞受賞	

## 第21回 三重野康・高木友之助記念学術奨励賞

本賞は、三重野康元日本銀行総裁および高木友之助元総長の篤志を尊重し、有為な人材の育成に資することを目的として、学部学生のうち、経済、金融、政策等の諸科学の分野で、卓越した成果を収めた者に授与するものです。

久保寺 亮太	法学部 4年
ゼミ論文「公正な人事考課制度を構築するために～人事管理論と労働法の視点から」これまで使用者のブラックボックスとされてきた人事考課について、どのように法的なコントロールをすることができるか探究した意欲的な論文である。裁判所がどのようなケースで「人事権の濫用」と判断してきたか析出しようとし、さらにその濫用が使用者の不法行為責任を導くにとどまらず、「昇格請求権」までも	

肯定できるか、といった極めてチャレンジングな議論をも展開したりと、精緻な論文形式であり、学部卒の段階で単なる習作にとどまらないオリジナルな分析が随所に垣間見られるものである。

藤田 幸一 経済学部 4年

演習論文「日本女性の就業継続のために」  
本論文は、現代日本における女性の就業問題を主題として考察した論稿である。女性の就業継続のために如何なる解決策があるのかという現代社会が抱える重要かつ喫緊の課題をテーマに選び、広範な統計データを収集しその詳細な分析を行い、多くの先行研究を過不足なく踏まえつつ、自らの見解を率直に提示した好論文である。論理性や分析力も備えており、演習論文として高く評価することができる。

武田 実姫 商学部 4年

卒業論文「スピルオーバーとイノベーション価値—医薬品・化学産業を対象とした実証分析—」  
日本の医薬品・化学産業を対象に地理的スピルオーバーとイノベーションとの関係を検証している本研究は、米国特許庁データベースを用い、各特許を地道に整理しながら特許データベースを作成している点で多大な労力をともなう力作といえる。さらに、可能な限り分析対象を精緻に測定しており、加えて、被引用件数がカウントデータであり、かつ、平均と分散との一致を制約に課すことを避けて負の2項分布モデルを用いた点も評価できる。

## 第19回 船木勝馬学術奨励賞

本賞は、船木勝馬氏の篤志を尊重し有為な人材の育成に資することを目的として、アジア諸国・地域からの留学生を対象とし、卒業論文、修士論文または研究論文が、優秀と認められた者に授与するものです。

王 旭 大学院法学研究科博士課程前期課程  
国際企業関係法専攻

修士論文「中国における『国際物品売買条約』の適用実態と問題」この論文は、我が国の裁判所が同条約の解釈を行おうとする場合に不可欠の、有益な視点を提供している。さらに、中国裁判例の紹介という資料提供にとどまらず、人民法院が見過した条約解釈上の論点を含め、その一里塚を築いたという点でも高く評価できる。

## 第19回 水野富久司スポーツ奨励賞

本賞は、水野富久司氏の篤志を尊重し、スポーツ振興の支援体制の一環として陸上競技部選手の育成に資することを目的として、陸上競技部に所属する学生のうち、長距離選手として優秀な成績を収めた者に授与するものです。

該当者なし

※学年は2013年度現在のものです。



## 第17回 瀧野秀雄学術奨励賞

本賞は、瀧野秀雄氏の篤志を尊重し、少壮気鋭の研究者の研究活動を奨励することを目的として、本学准教授、助教もしくは専任講師または大学院に在籍する学生であって、産業や技術開発の国際化にともなう知的財産権に関する研究論文が優秀と認められた者に授与するものです。

高橋 裕純	大学院理工学研究科博士課程後期課程 経営システム工学専攻
論文「人間および機械可読なグラフィックシンボルを用いた食の安全・安心と付加価値情報の提供サービス」 日本感性工学会研究論文集に採録され、情報提供システムとして特許が認められた。同技術は、グラフィックコード表現力を格段に広げる技術であり、ブランドビジネスに与えるインパクトは大きい。	
小田 雄一郎	大学院法務研究科専門職学位課程 法務専攻
1. プレゼンテーション「エンターテインメントビジネスにおけるパブリシティ権の重要性」一般財団法人日本知財学会主催の第10回年次学術研究発表会において、学生優秀発表賞を受賞。法的性質・主体・侵害判断・譲渡可能性・今後の解釈論の方向性・立法の可能性・エンターテインメントビジネスモデルへの影響等を多角的に検討した先駆的価値のある研究発表である。 2. 論文「いわゆる『創作法的選択の幅論』の試論」第9回著作権・著作隣接権論文募集にて佳作に入賞し、同センター発行の第9回著作権・著作隣接権論文集に掲載されるなど高い評価を得ている。	



## 第17回 茨木龍雄学術奨励賞

本賞は、茨木龍雄氏の篤志を尊重し、土木工学の分野における有為な人材の育成に資することを目的として、理工学部土木工学科および大学院理工学研究科土木工学専攻に在籍する学生であって、土木工学に関する研究および人物がともに優秀と認められた者に授与するものです。

岡田 裕之介	大学院理工学研究科博士課程前期課程 土木工学専攻
査読付き論文集に二編（英語論文一編を含む）の論文が掲載され、さらに現在一編の査読付き論文を執筆している。特に土木学会全国大会第67回年次学術講演会では日々の成果を十分発揮し、優秀講演者賞を受賞した。修士論文「斐伊川放水路の洪水流分派機能と分派点付近の本川河床変動に関する研究」は、今年度より本格始動した斐伊川流域の治水事業にかかわるものであり、社会的意義の高いテーマを取り扱っている。岡田氏の取り組んだ検討方法は、今後の斐伊川放水路の適切な運用方法や河道内の抵抗問題を議論するうえで役立つと考えられる。	

成 岱蔚

大学院理工学研究科博士課程前期課程  
土木工学専攻

「キャンパス・アジア」中核拠点支援事業（文部科学省設立の事業）に採択された国際水環境人材育成プログラムによる留学生であり、研究室の勉強会ではリーダーとして発表者や日程の管理統括を行っており、研究室運営に大きく貢献しているとともに、所属研究室において、中国・台湾・韓国・ベトナムからの28人にわたる留学生の手本となり、積極的に学業および私生活の指導を行っている。さらに、修士論文「MPS (Moving Particle Semi-implicit) 法における数値擾乱を低減させる改良法に関する研究」からも、探究心・行動力・意識の高さ・将来性が評価できる。



## 第17回 久保田昭夫女子スポーツ奨励賞

本賞は、久保田昭夫氏の篤志を尊重し、スポーツ振興の支援体制の一環として女子選手の育成に資することを目的として、学友会体育連盟の部会に所属する女子学生であって、選手として優秀な成績を収めた者に授与するものです。

松村 夏海	法学部 4年(女子卓球部)
第80回 全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部) 女子ダブルス 優勝	
北岡 エリ子	文学部 4年(女子卓球部)
第80回 全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部) 女子ダブルス 優勝	



## 第60回 学員体育会賞

本賞は、体育の業績において優秀な成績をあげた本学の学生、団体に対し授与するものです。



### 努力団体賞



準硬式野球部	
東都大学準硬式野球春季リーグ戦 7季連続 56回目 優勝 東都大学準硬式野球秋季リーグ戦 8季連続 57回目 優勝	
自動車部	
平成25年度 全関東総合杯	総合優勝
全関東学生運転競技選手権大会	男子団体 4位
全関東学生ジムカーナ選手権大会	男子団体優勝
全関東学生ダートトライアル選手権大会	男子団体優勝
スケート部	
第61回 関東大学アイスホッケー選手権大会	優勝
関東大学アイスホッケーリーグ戦	優勝
ボート部	
第35回 全日本軽量級選手権大会	男子エイト優勝
第40回 全日本大学選手権大会(インカレ)	男子舵手付きフォア 優勝
射撃部	
第9回 日本学生選抜ライフル射撃選手権大会	女子総合 優勝

リレー賞

陸上競技部	
第92回 関東学生陸上競技対校選手権大会	男子4×100m 優勝 女部田 亮(法4) 谷口 耕太郎(商1) 猶木 雅文(法2) 飯塚 翔太(法4)
第82回 日本学生陸上競技対校選手権大会(インカレ)	男子4×100m 優勝 女部田 亮(法4) 猶木 雅文(法2) 渡辺 将志(経2) 飯塚 翔太(法4)
第82回 日本学生陸上競技対校選手権大会(インカレ)	男子4×400m 優勝 皆木 佑太(総2) 飯塚 翔太(法4) 猶木 雅文(法2) 木村 淳(法4)
水泳部	
第89回 日本学生選手権水泳競技大会(インカレ)	男子400mリレー 優勝 宮本 淳平(法4) 石橋 千彰(総4) 矢野 貴寛(総3) 塩浦 慎理(法4)
女子陸上競技部	
第92回 関東学生陸上競技対校選手権大会	女子4×400m 優勝 新宅 麻未(商2) 菅原 聡美(総4) 山本 瑞(法2) 吉良 愛美(商4)
自転車競技部	
第82回 全日本自転車競技選手権大会	トラック・レース男子4km チーム・パシュート 優勝 黒瀬 耕平(法3) 緑川 峻一(法3) 神開 一輝(経2) 高土 拓也(法2)

優秀選手賞

飯塚 翔太	法学部 4年(陸上競技部)
第97回 日本陸上競技選手権大会兼 モスクワ世界陸上代表選考会	男子200m 優勝
第14回 世界陸上競技選手権大会(モスクワ)	男子400mリレー6位入賞・男子200m(日本代表)
第27回 ユニバーシアード競技大会	男子200m 3位・男子4×100mリレー 2位
木村 淳	法学部 4年(陸上競技部)
第27回 ユニバーシアード競技大会	男子4×400mリレー 5位 男子400m(日本代表)
塩浦 慎理	法学部 4年(水泳部)
第89回 日本選手権水泳競技大会兼 世界水泳選手権大会代表選考会	男子50m自由形 優勝(日本新記録) 男子100m自由形 優勝
第15回 世界水泳選手権大会(バルセロナ) 日本代表	男子50m 自由形 男子100m自由形 男子4×100mフリーリレー 8位 男子4×100mメドレーリレー 3位
第89回 日本学生選手権水泳競技大会(インカレ)	男子50m 自由形 優勝 男子100m自由形 優勝(大会新記録)

堤 貴大	総合政策学部 3年(水泳部)
第27回 ユニバーシアード競技大会	男子200m個人メドレー 3位
石橋 千彰	総合政策学部 4年(水泳部)
第27回 ユニバーシアード競技大会	男子400mフリーリレー 5位 男子200m自由形 9位
皆川 佑介	経済学部 4年(サッカー部)
第27回 ユニバーシアード競技大会	日本代表 FW 3位
羽野 一志	法学部 4年(ラグビー部)
第27回 ユニバーシアード競技大会	ユニバーシアードセブンス男子日本代表 BK 6位
木下 竜之	商学部 4年(重量挙げ部)
第59回 全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会	94キロ級優勝(2年連続)
第10回 全日本学生ウエイトリフティング選抜選手権大会	94キロ級優勝
第41回 東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会	94キロ級優勝
小泉 茉優	商学部 3年(射撃部)
第27回 ユニバーシアード競技大会	10m S40W 日本代表 10m S40W 団体 日本代表
平成25年度 関東学生ライフル射撃選手権春季大会	50m 3×20W 優勝
第9回 日本学生選抜ライフル射撃選手権大会	10m S40W 優勝
西本 拳太	法学部 1年(バドミントン部)
第27回 ユニバーシアード競技大会	国別対抗戦 6位 男子シングルス 日本代表
第64回 全日本学生バドミントン選手権大会(インカレ)	男子シングルス 優勝
第56回 東日本学生バドミントン選手権大会	男子シングルス 優勝

体育賞

猶木 雅文	法学部 2年(陸上競技部)
第82回 日本学生陸上競技対校選手権大会(インカレ)	男子200m 優勝
2013 日本学生陸上競技個人選手権大会	男子200m(大会新記録) 優勝
神野 雄司	経済学部 3年(水泳部)
第89回 日本学生選手権水泳競技大会(インカレ)	男子100m/バタフライ 優勝
佐藤 祐斗	法学部 1年(水泳部)
第27回 ユニバーシアード競技大会	男子1500m自由形 日本代表

※学年は2013年度現在のものです。

# 表彰

土田 秀幸	商学部 4年(自動車部)
平成 25 年度 全日本学生ジムカーナ選手権大会	男子の部 優勝
平成 25 年度 全関東学生ジムカーナ選手権大会	男子の部 優勝
平成 25 年度 全関東学生ダートトライアル選手権大会	男子の部 優勝
小野田 拓人	法学部 3年(スケート部)
第 26 回 ユニバーシアード冬季競技大会	日本代表
越後 智哉	法学部 3年(スケート部)
第 26 回 ユニバーシアード冬季競技大会	日本代表
中島 彰吾	総合政策学部 2年(スケート部)
第 26 回 ユニバーシアード冬季競技大会	日本代表
小泉 和也	法学部 2年(スケート部)
第 26 回 ユニバーシアード冬季競技大会	日本代表
古橋 真来	法学部 2年(スケート部)
第 26 回 ユニバーシアード冬季競技大会	日本代表
篠原 由馬	法学部 3年(スキー部)
第 87 回 全日本学生スキー選手権大会	男子大回転 優勝
第 29 回 全日本学生アルペンチャンピオンスキー大会	男子スーパーコンパインド 優勝
宮本 慎矢	法学部 3年(スキー部)
第 87 回 全日本学生スキー選手権大会	男子回転 優勝
第 29 回 全日本学生アルペンチャンピオンスキー大会	男子回転 優勝(2連覇)
新里 葉津紀	商学部 1年(射撃部)
第 26 回 全日本女子学生ライフル射撃選手権大会(インカレ)	女子 10m S40W 優勝
北岡 エリ子	文学部 4年(女子卓球部)
第 80 回 全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)	女子ダブルス 優勝
松村 夏海	法学部 4年(女子卓球部)
第 80 回 全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)	女子ダブルス 優勝

## 努力賞

女部田 亮	法学部 4年(陸上競技部)
2013 日本学生陸上競技個人選手権大会	男子 100m 優勝(2連覇)
鈴木 琢巳	経済学部 2年(ソフトテニス部)
第 47 回 総理大臣杯全日本学生選抜	ソフトテニスインドア選手権大会 ダブルス 優勝
丸中 大明	商学部 2年(ソフトテニス部)
第 47 回 総理大臣杯全日本学生選抜	ソフトテニスインドア選手権大会 ダブルス 優勝
勝又 駿	文学部 4年(準硬式野球部)
東都大学準硬式野球春季リーグ戦	優勝 最優秀選手賞

清水 彰仁	商学部 4年(準硬式野球部)
東都大学準硬式野球春季リーグ戦	優勝 最優秀選手賞
辻 寛太	法学部 4年(スケート部)
第 61 回 関東大学アイスホッケー選手権大会	最優秀選手賞
関東大学アイスホッケーリーグ戦	最優秀選手
水口 紘希	法学部 1年(フェンシング部)
第 65 回 関東学生フェンシング選手権大会	男子エペ 優勝
菅原 聡美	総合政策学部 4年(女子陸上競技部)
第 92 回 関東学生陸上競技対校選手権大会	女子 200m 優勝
吉良 愛美	商学部 4年(女子陸上競技部)
第 92 回 関東学生陸上競技対校選手権大会	女子 400mハードル 優勝
2013 日本学生陸上競技個人選手権大会	女子 400mハードル 優勝
清水 珠夏	文学部 4年(女子陸上競技部)
第 92 回 関東学生陸上競技対校選手権大会	女子走幅跳 優勝(2連覇)
榎本 雄斗	法学部 3年(剣道部)
第 59 回 関東学生剣道選手権大会	優勝
権田 達也	法学部 2年(重量挙げ部)
第 41 回 東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会	56キログ級 優勝
中村 龍	法学部 3年(拳法部)
第 26 回 東日本学生個人選手権大会	段の部 優勝(2連覇)

## 永年監督賞

小栗 忠	陸上競技部
------	-------

## 学長賞

飯塚 翔太	法学部 4年(陸上競技部)
木村 淳	法学部 4年(陸上競技部)
塩浦 慎理	法学部 4年(水泳部)
堤 貴大	総合政策学部 3年(水泳部)
石橋 千彰	総合政策学部 4年(水泳部)
皆川 佑介	経済学部 4年(サッカー部)
羽野 一志	法学部 4年(ラグビー部)
木下 竜之	商学部 4年(重量挙げ部)
小泉 茉優	商学部 3年(射撃部)
西本 拳太	法学部 1年(バドミントン部)

## 第31回 学員会会長賞

本賞は、本学在学生のうち学術、文化、社会等の活動を通じて優秀な成果を収めた者に授与するものです。

## 学術研究・スポーツ功績への表彰

### 学術・文化・社会の分野(団体)

横山彰研究会	総合政策学部
「CSRによるジョブ・カード制度普及政策—不本意型非正規雇用労働者の正規雇用への移行を目指して—」 「リサーチ・フェスタ 2013」において、研究のポスター制作と報告発表および質疑応答において、顕著な成績が高く評価され最優秀賞を受賞。	
FLPジャーナリズム プログラム松野一ゼミ	FLP(ファカルティリンケージ・プログラム)
ドキュメンタリー「ノネコの引っ越し作戦～海を越えて命を守る～」 「地方の時代」映画祭で奨励賞を受賞。また、東京ビデオフェスティバルでは筑紫哲也賞を受賞した。そのほかにも、「大韓航空機 007 便墜落事件」「戦争を生きた先輩たち」「台湾二二八事件と中大卒業生」などの活動が、読売、毎日、東京、共同などのマスメディアに取りあげられ、中央大学の名声を高めた。	
puzoole	FLP(ファカルティリンケージ・プログラム)
学生団体 applim 主催の「マーケティングコンテスト」において、社会課題である性感染症を早期発見し病院に行くきっかけを生み出すという内容のプロモーションアイデアを発表し、優秀賞を獲得。この、プロモーション内容の独自性、社会貢献度は高く評価され、まさに本学学生の模範となるものである。	

### 学術・文化・社会の分野(個人)

吉本 悠太	商学部 2年
2013 年度学生王将戦(十傑戦)において学生王将を獲得。※本学学生としては 1972 年度第一回大会以来 41 年ぶりの受賞。	
宮崎 汐里	文学部 3年
東日本大震災後の 2011 年 12 月から継続して、宮城県気仙沼市面瀬地区で、仮設住宅でのコミュニティ支援や、面瀬小学校の児童への総合的な学習プログラムの企画のボランティア活動を行っている。彼女の活動は現地での厚い信頼を得ており、三陸新報など地元メディアに多数取りあげられている。また、東京でも自身の体験から得た学びや被災地の現状、課題を外部のシンポジウムや学内の報告会を通して伝える活動も積極的に行っていることから、本学におけるボランティア文化の醸成に深く関与しているといえる。	
今村 勇也	大学院理工学研究科博士課程前期課程 精密工学専攻
「操作者周辺に固定したコマンド空間を用いた家電操作手法の構築」は、第 14 回人間情報学会ポスターセッションにおいて、最優秀の 1 名にのみ与えられる価値ある学生部門最優秀賞を受賞。本学会は人間情報学に関する広範囲にわたる最先端の研究発表が行われる場となっているため、賞の受賞は、本学の名誉を高めるのに大きく貢献しているといえる。	

川下 雄大	大学院理工学研究科博士課程前期課程 精密工学専攻
「差分ステレオにパーティクルフィルタを適用した人物追跡」が、第 13 回人間情報学会ポスターセッションにおいて、最優秀の 1 名にのみ与えられる価値ある学生部門最優秀賞を受賞。本学会は人間情報学に関する広範囲にわたる最先端の研究発表が行われる場となっているため、賞の受賞は、本学の名誉を高めるのに大きく貢献しているといえる。	
渡辺 拓巳	大学院理工学研究科博士課程前期課程 精密工学専攻
“冗長性を考慮した 7 自由度人工筋肉マニピュレータの研究”において、オーストリア・ウィーンで開催された権威ある国際会議 “the 39th Annual Conference of the IEEE Industrial Electronics Society (IECON2013)” にて “Best Paper in Session” を受賞。また、ロボティクス制御の国際会議 “10th International Conference on Information in Control, Automation and Robotics (ICINCO2013)” や国内学会 “ロボティクス・メカトロニクス講演会 2013” において発表したとともに、科学技術を紹介する “イノベーションジャパン” に参加し研究室の運営にも大きく貢献した。	
溝田 裕	大学院理工学研究科博士課程前期課程 精密工学専攻
発表題目「DEVELOPMENT OF A WALL CLIMBING ROBOT USING THE MOBILE MECHANISM OF TRAVELING WAVES PROPAGATION」は、オーストラリア・シドニーで行われた権威ある国際会議 The 16th International Conference on Climbing and Walking Robots and the Support Technologies for Mobile Machines (CLAWAR2013) において、Best Technical Paper Award 内の Highly commended paper award を受賞。 また、発表題目「波動伝播式移動機構における波の打ち消し機構の開発」は、日本・福岡で行われた権威ある国内学会第 13 回計測自動制御学会 (SI2012) システムインテグレーション部門講演会にて優秀講演賞を受賞した。	
古谷 幸二	大学院理工学研究科博士課程前期課程 精密工学専攻
学術論文 1 篇、学術講演発表 3 件、ポスター講演 2 件と積極的に研究成果を外部公表を行うなど、これまでの研究業績と修士論文の研究内容が評価され、2013 年度日本冷凍空調学会・会長奨励賞を受賞した。	
板橋 明	大学院理工学研究科博士課程前期課程 電気電子情報通信工学専攻
電子情報通信学会 磁気記録・情報ストレージ研究会において、講演内容の学術論文を執筆し、かつ、実際に講演を行った優秀な大学院生に与えられる賞である電子情報通信学会 磁気記録・情報ストレージ研究専門委員会委員長賞を受賞。さらにこれまで査読有り学術雑誌論文 7 件、査読無し論文 2 件を出版しており、内 6 件は英語で執筆している。また、国内外の学術講演会において 17 件の発表を行うなど、学術分野において中央大学の名を高める功績をあげているといえる。	

※学年は2013年度現在のものです。

有光 哲彦	大学院理工学研究科博士課程後期課程 精密工学専攻
<p>博士研究「感性を考慮した活動支援のための機能性を有する音環境創造に関する研究」が公益社団法人自動車技術会の投稿論文に3本掲載され、自動車関連技術分野の向上発展に特に貢献し、自動車技術会の2013年度大学院研究奨励賞を受賞。今後の本学での教育研究での活躍が期待され、中央大学の名声向上にも大きく貢献したといえる。</p>	
大森 隼人	大学院理工学研究科博士課程 後期課程精密工学専攻
<p>懸命かつ意欲的に研究に励んできた結果、宇宙分野の学会で長い歴史があり、国内学会のなかで最大規模である第57回宇宙科学技術連合講演会にて、35歳未満の若手研究者が対象である若手奨励賞優秀論文を受賞。斬新・独創的で、将来性があり宇宙分野において有用であると高く評価された。ほかにも、論文2報、国際学会2件、国内学会2件という非常に優秀な研究成果を残した。また、世界最先端の研究を行っているスイス連邦工科大学ローザンヌ校(EPFL)に留学し、研究や研究発表に積極的に取り組んだ。</p>	
岡本 峻	大学院理工学研究科博士課程前期課程 電気電子情報通信工学専攻
<p>「データ断片化防止アルゴリズムを用いたハイブリッドSCM/MLC NAND フラッシュ SSD」 第25回コンピュータシステム・シンポジウム(ComSys2013)で最年少の発表者でありながら優秀ポスター賞を受賞。</p>	
渡部 紗世	大学院理工学研究科博士課程前期課程 応用化学専攻
<p>「SilverCatalyzed Conjugate Addition of Glycine Imino Esters」ドイツのThimes社出版している学術誌の編集委員会が、世界中の著名な学術誌に掲載された有機合成化学に関する論文のなかから選び、抄録している、世界の一流の研究として認められる学術誌SYNFACTSに掲載。</p>	
吉越 宇宙	大学院理工学研究科博士課程前期課程 経営システム工学専攻
<p>平成24年度アクチュアリー資格試験数学において満点合格し、日本アクチュアリー会より表彰を受けた。</p>	

## スポーツの分野(個人)

飯塚 翔太	法学部 4年(陸上競技部)
<p>第97回 日本陸上競技選手権大会兼 モスクワ世界陸上代表選考会 男子200m 優勝</p> <p>第14回 世界陸上競技選手権大会(モスクワ) 日本代表 男子400mリレー 6位入賞 男子200m 日本代表</p> <p>第27回 ユニバーシアード競技大会 男子200m 3位 男子4×100mリレー 2位</p>	
木村 淳	法学部 4年(陸上競技部)
<p>第27回 ユニバーシアード競技大会 日本代表 男子4×400mリレー 5位 男子400m 日本代表</p>	

塩浦 慎理	法学部 4年(水泳部)
<p>第89回 日本選手権水泳競技大会兼 世界水泳選手権大会代表選考会 男子50m自由形優勝(日本新記録) 男子100m自由形優勝</p> <p>第15回 世界水泳選手権大会(バルセロナ) 日本代表 男子50m自由形・男子100m自由形(日本代表) 男子4×100mフリーリレー 8位 男子4×100mメドレーリレー 3位</p> <p>第89回 日本学生選手権水泳競技大会(インカレ) 男子50m自由形優勝・男子100m自由形優勝(大会新記録)</p>	
堤 貴大	総合政策学部 3年(水泳部)
<p>第27回 ユニバーシアード競技大会 男子200m個人メドレー 3位</p>	
石橋 千彰	総合政策学部 4年(水泳部)
<p>第27回 ユニバーシアード競技大会 男子400mフリーリレー 5位・男子200m自由形 9位</p>	
皆川 佑介	経済学部 4年(サッカー部)
<p>第27回 ユニバーシアード競技大会 日本代表FW 3位</p>	
羽野 一志	法学部 4年(ラグビー部)
<p>第27回 ユニバーシアード競技大会 ユニバーシアードセvens男子日本代表BK 6位</p>	
木下 竜之	商学部 4年(重量挙げ部)
<p>第59回 全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会 94キログラム級優勝(2年連続)</p> <p>第10回 全日本学生ウエイトリフティング選抜選手権大会 94キログラム級優勝</p> <p>第41回 東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 94キログラム級優勝</p>	
小泉 茉優	商学部 3年(射撃部)
<p>第27回 ユニバーシアード競技大会 10m S40W 日本代表・10m S40W 団体日本代表 平成25年度 関東学生ライフル射撃選手権春季大会 50m 3×20W 優勝</p> <p>第9回 日本学生選抜ライフル射撃選手権大会 10m S40W 優勝</p>	
西本 拳太	法学部 1年(バドミントン部)
<p>第27回 ユニバーシアード競技大会 国別対抗戦 6位・男子シングルス 日本代表</p> <p>第64回 全日本学生バドミントン選手権大会(インカレ) 男子シングルス 優勝</p> <p>第56回 東日本学生バドミントン選手権大会 男子シングルス 優勝</p>	

## スポーツの分野(OB)

小長谷 研二	岐阜県職員(水泳部OB)
<p>第15回 世界水泳選手権大会(バルセロナ) 男子4×100mリレー 8位</p>	
佐藤 志郎	北野建設(スキー部OB)
<p>第22回 オリンピック冬季競技大会(ソチ) クロスカントリー 監督</p>	
吉田 圭伸	自衛隊(スキー部OB)
<p>第22回 オリンピック冬季競技大会(ソチ) クロスカントリー 男子リレー 日本代表</p>	

千田 健太	NEXUS株式会社(フェンシング部OB)
第66回 全日本フェンシング選手権大会 男子フルーレ 優勝	
猪熊 隆之	株式会社ヤマテン(山岳部OB・山岳部監督)
自身のヒマラヤにおける登山経験、現地の地形、予報の不確実性を徹底的に調査、研究し、登山者のニーズにあった的確な天気予報を画期的に向上させ、現在までに国内外の50以上の登山隊や映像隊に、ヒマラヤにおける山岳気象予報を提供しその目的達成に寄与。また、国内においては旅行会社や山小屋、登山ガイドに向けて日本ではじめて山岳地の気象予報を提供し、山岳気象予報の重要性を訴え登山者の安全と気象遭難の予防と減少を目指し、本邦山岳界発展と安全登山において貢献し大きな評価を受けている。	

 **第15回 法曹会賞**

本賞は、中央大学法曹会が、毎年卒業する学生のうち、学業成績優秀または文化活動に顕著な功績をあげた卒業生に対して授与するものです。

菅野 邑斗	法学部 4年
在学4年次に平成25年司法試験合格	

 **第28回 南甲倶楽部賞**

本賞は学員会南甲倶楽部が、毎年卒業する学生のうち、学力優秀にて学問研究、文化活動、体育活動および社会活動などの分野において顕著な成果をあげ、本学の名声を高めるとともに本学の発展に寄与した者を対象に授与するものです。(南甲倶楽部は実業界で活躍するOBが組織する団体)

岡田 早百合	法学部 4年
法学部卒業生のなかで、在学中の学業成績が優秀であり、かつ、所属ゼミでの活躍も顕著で、指導教員およびゼミ生からの信頼も厚い。	
田原 圭	経済学部 4年
学業成績優秀であり、学部学生の模範となるに相応しく、南甲倶楽部賞受賞候補者として適格である。	
棚橋 雄輝	商学部 4年
本年度商学部卒業生のなかで学業成績が優秀であり、難関とされる公認会計士試験に在学中に見事合格。また、ゼミにおいても熱心に取り組み、人物面も良好であり、指導教員およびゼミ生等からの信頼も厚い。	
山下 藍子	理工学部 4年
本年度理工学部卒業生のなかで、学部4年間を通して常に優秀な成績を維持。また、勉強に精進して好成績を得ただけでなく、自らの学費を部分的に賄い、家計のサポートもしていた。卒業研究では「フーリエ解析」というテーマに意欲的に取り組み、着実にフーリエ級数の理論の理解を深め、この研究に打ち込む熱意、ゼミナールでの分かり易くまとめた発表の仕方は同級生たちの模範となっていた。	

本学卒業後は、相模農協に勤務する予定であり、卒業後もこの姿勢を活かし、大いに活躍してくれるものと確信している。	
和田 佳央莉	文学部 4年
真面目に勉学に取り組み、授業への参加も積極的で、優秀な成績を収めてきた学生であり、卒業論文「自己表現術をめぐる日仏比較—両国の試験制度と授業形態を通じて—」は、調査の行き届いたしっかりとしたものである。また、ゼミ合宿やクラスの活動でも、リーダー的な役割を演じてくれ、ほかの学生のまとめ役として大いに力を発揮してくれた。卒業後も本学で学んだことを活かし、社会に貢献してくれる有意な人材になると確信している。	
中澤 翔太	総合政策学部 4年
学部の授業について真面目に勉学し、とりわけ3年間、事例研究およびインター・ゼミナールの活動に力を入れて取り組んできた優秀な学生である。2年次には、その年発生した福島第一原発事故に関連して、東京電力の被災地観光産業への賠償問題について「原発風評被害の賠償による被災地観光産業の復興」という共同論文を作成し、インター・ゼミナールのISFJ2011(日本政策学生会議2011)において政策提言賞と優秀賞を受賞した。また3年次には、公的年金制度の持続可能性について現役世代と高齢世代がともに負担を分かち合うべきであるという観点から「マクロ経済スライドの廃止と新たな年金課税・還付制度導入」(共同論文)を作成し、ISFJ2012に参加した。卒業論文では、公的年金制度と関連性の深い高齢期就労に着目し、高齢労働者の労働供給力を踏まえたうえで今後の年金制度の方向性を論じた「在職高齢年金制度改革の方向性：高齢期就労の実状と将来を踏まえて」を完成させた。将来は公的年金制度および労働政策を担当する国家公務員になることを目指し、卒業後の進路として、一橋大学国際・公共政策大学院に進学を決めている。本学で学んだことを活かし、国家公務員として社会に貢献できる有為な人材になると確信している。	

 **第9回 東京白門ライオンズクラブ学術奨励賞**

本賞は、東京白門ライオンズクラブが、有為な人材の育成に資することを目的として、博士課程前期課程・修士課程に在学する外国人留学生のうち、優秀な成績をもって課程を修了し、かつわが国と出身国を結ぶ架け橋として活躍が囑望される者に授与するものです。

陳 才	大学院商学研究科博士課程前期課程学専攻
修士論文「中国上場企業における所有制構造—『株式分離改革』についての一考察」「流通株」と「非流通株」という中国特有の株式制度の考察を通じて、上場企業の所有制構造における政府の存在感の大きさを実証的に明らかにしたもので、中国国有企業の研究としては非常にユニークな分析視角を持つものである。また、陳才氏は中国における株式制民間銀行の最大手である「中国民生銀行」への就職が決定している。将来は日中ビジネスのさらなる発展に貢献し、日本と中国の架け橋となって活躍しうる人材を目指している。	

※学年は2013年度現在のものです。